

高橋睦郎が選んだ10点

Installation 徳照貴寿

高見順展

高見順賞というと、癌に冒された小説家が、

小説を書く体力が残っていないので小説の代りに詩を書き、

そのことを記念して没後生まれた詩人賞、と思われがちだ。

事実はそのようではなく、高見順は小説を書く以前から詩を書き、

その後も断続的に書きつづけ、最後の表現手段も詩だった。

そしてその作品には、他のどんな詩人にも劣らない発見がある。

その名を冠に戴く高見順賞が、現代詩最高の賞と目されるのは、

ゆえのあることなのだ。

高橋睦郎



3月19日(金)～7月11日(日) ONOメモリアル

キュレーション 戸田正寿 主催 坂井市・坂井市教育委員会